

社会科学習指導案

令和3年5月17日(月) 第3学年2組(6年3組教室) 指導者 井出 悠介

【単元】学校のまわり たんけんたい 「(1)ア(イ), (1)イ(ア)」

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	学校の周りの土地利用や公共施設, 道路などの分布を基にした身近な地域の様子への大まかな理解と, 観察・調査したことを白地図にまとめる技能	学校の周りの様子について, 学習問題を見いだしたり, 場所による様子の違いを考えたりして表現する力	学校の周りの様子について関心をもち, 予想や学習計画を考え, 学校の周りの様子や場所による様子の違いを意欲的に追究しようとする態度と地域社会に対する愛情
児童の実態	- 地図上には, 公共施設や病院など様々な建物が示されていることを理解している。 - 学校の周りの建物や公共施設を知っているが, 地図記号を用いて白地図にまとめる経験はない。 - 学校の周りは, 場所によって様子に違いがあることを認識していない。	- 生活経験を基に, 学校の周りにある建物や公共施設, 土地利用, 交通の広がりを感じることができる。 - 学校の周りの様子と自分たちの生活とのつながりを考える経験は乏しい。	- 学校の周りにある建物や公共施設の様子, 土地利用, 交通の広がりについて疑問や調べたいことをもち, 問題を主体的に追究してきた。 - 地域社会と自分たちの生活に関わりがあることを実感していない。
価値	- 附属小学校は前橋市市街の中心にあり, 周囲を多くの家や店, 公共施設等の建物や交通量の多い道路に囲まれている。学校の西側にある赤城県道は前橋駅から赤城山に伸びる県内の主要道路になっており, 多くの人々が生活に利用している。そのため, スーパーマーケットやコンビニエンスストア等が沿道に多数あり, それを利用するための駐車場も多く存在する。多くの人々が集まるため道幅も広がっており, 市外から来る人や前橋市市内を巡回するバスの本数も多く, 様々な乗り物が行き交っている。このような学校の周りの様子を調べることは, 社会科を学習し始めたばかりの3年生にとって, 漠然としていた学校の周りの様子を明確に捉え直す機会になる。そして, 場所による様子が違う理由を考えることで, 自分たちの生活と地域社会とのつながりを見いだすことにつながる。このことは, 地域社会の一員としての自覚を培うことになる。 - 学校の周りの様子について観察・調査したことを, 地図記号を用いて白地図に表すことで, 観察・調査したことをまとめる技能を身に付けられる。 - まちの様子は, 場所によって異なることや, 自分たちの生活と結び付きがあるという概念的知識を得られる。	- 学校の周りの様子について観察・調査したことを比較することで, 相違点から学校の周りの様子の違いを説明できる。 - 人々の生活と建物や公共施設, 土地利用, 交通の広がりとを関連付けることで, 学校の周りの様子が違う理由を説明できる。	- 学習内容が身近な地域のため, 学校の周りの様子と自分たちの生活とを関連付けて意欲的に学習に取り組める。 - 身近な地域を学習することで, 学校の周りの様子に興味・関心をもてる。
見方・考え方	学校の周りの様子について, 人々の生活と建物の様子や公共施設の分布, 土地利用, 交通の広がりとを関連付け, 場所による様子の違いとその理由を考えること。		
今後の学習	3年「わたしたちの前橋市」で, 前橋市の建物の様子や公共施設の働き, 土地利用, 交通の広がりを考える学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	学校の周りの様子は場所によって違いがあることやその理由を考え、学校の周りの様子の特色を理解する。			
評価 規準	(①知・技) 学校の周りの土地利用や公共施設、道路などの分布を基に、身近な地域の様子を大まかに理解している。 学校の周りについて観察・調査をしたことを基に白地図にまとめている。 (②思・判・表) 学校の周りの様子について、学習問題を見いだしたり、場所によって違いがあることやその理由を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 学校の周りの様子について関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○学校の周りの様子について、疑問や調べたいことを基に学習問題を立てる。 学習問題 わたしたちの学校のまわりは、どのようなようすになっているのだろう	○学校の周りの様子について疑問や調べたいことをもてるように、生活経験を基に学校の周りの様子について知っていることや分からないことを記述する学習プリントを用意する。	◇学校の周りにある建物や公共施設の分布に対する疑問や調べたいことを記述している。＜学習プリント②＞
	1	○学校の周りの様子について、東西南北ごとの様子を予想し、調べる計画を立てる。 ＜調べる観点＞ ・建物の様子 ・公共施設の名前と働き ・土地の使われ方 ・交通の広がり	○既習事項や生活経験を基に、学校の周りの様子について予想できるように、東西南北ごとに建物の様子や土地利用の様子を予想し、記述する学習プリントを用意する。	◇生活経験や資料を基に、東西南北ごとに学校の周りの様子について予想し、記述している。＜学習プリント③＞
追究する	2	○学校の周りの様子を調べ、分かったことを絵や言葉を使って白地図にまとめる。（現場学習①）	○観点に沿って学校の周りの土地利用の様子や公共施設等を調べられるように、学校の周りの区画が示されている白地図を用意する。	◇学校の周りの土地利用の様子や公共施設の名称等を家、店、公共施設、病院、畑に分けて白地図を作成している。＜白地図①＞
	1	○学校の周りの様子を調べ、建物や公共施設の分布を付箋紙で色分けして白地図にまとめる。	○観察・調査した学校の周りの様子の情報を整理できるように、建物の様子や土地の使われ方ごとに色分けした付箋紙を用意する。	◇学校の周りの様子を建物の種類や土地利用ごとに付箋紙で色分けしながら白地図を作成している。＜白地図①＞
	1	○学校の周りの様子を地図記号を使って白地図にまとめる。	○地図記号を用いて学校の周りの様子をまとめられるように、病院や図書館等の地図記号が示された資料を用意する。	◇学校や図書館、病院について適切な地図記号を使って学校の周りの白地図を作成している。＜白地図①＞
まとめる・生かす	1	○大型白地図を基に、学校の周りの様子を東西南北ごとにまとめ、学習問題の答えを出す。	○東西南北ごとの様子の特色を見いだせるように、学校の周りの様子を東西南北に分けて記述する学習プリントを用意する。	◇家や店が多い場所、公共施設がある場所等、東西南北ごとに学校の周りの特色を記述している。＜学習プリント②＞
	1	○学校の周りの様子について、学習問題の答えや赤城県道とみずき通りの交差点の写真、地形図を基に、新たな学習問題を立て、様子が違う理由を予想する。 新たな学習問題 わたしたちの学校のまわりは、なぜ場所によってようすがちがうのだろう	○場所によって学校の周りの様子が違う理由について疑問をもてるように、2つの通り沿いの交差点の写真の相違点や地形図から分かったことを記述する学習プリントを用意する。	◇学校の周りの様子について、赤城県道とみずき通りの交差点の写真の相違点や地形図とを関連付けながら、学校の周りの様子が違う理由に対する疑問を記述している。＜学習プリント②＞
	2	○赤城県道沿いとみずき通り沿いの様子が違う理由を調べる。（現場学習②）	○2つの通り沿いの様子の違いを見つけて撮影できるように、通り沿いごとに写真を分類する学習シートを用意する。	◇2つの通り沿いの様子を建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等の視点で写真を撮影している。＜写真①＞
	1	○赤城県道沿いとみずき通り沿いの様子が違う理由について話し合う。（本時）	○2つの通り沿いの様子が違う理由を見いだせるように、建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等を記入する二次元表のある考えや根拠を視覚化して表す学習シートを用意する。	◇2つの通り沿いの様子が違う理由を、建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等の違いを根拠に記述している。＜学習シート②＞
	1	○学校の周りの様子が違う理由についてまとめ、新たな学習問題の答えを出す。	○東西の様子の違いと人々の生活とを関連付けられるように、2つの通り沿いの様子が分かる写真や2つの通りの延伸を示した地形図を用意する。	◇学校の周りの様子が違う理由を東西の様子の違いと人々の生活と関連付けて記述している。＜学習プリント②＞

本時の学習（11／12 時間目）

ね ら い 赤城県道沿いとみずき通り沿いの建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等の共通点や相違点を話し合うことを通して、現場学習で調べたことを根拠に、2つの通り沿いの様子が違う理由を考え、表現することができる。

評価項目 2つの通り沿いの様子が違う理由を、建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等の違いを根拠に記述している。

<学習シート②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・2つの通り沿いの様子が違う理由を調べてきたね。現場学習で撮影してきた写真を比べて様子が違う理由を見つけよう。 (問題意識) めあて：2つの通りぞいのようすはなぜちがうのだろう	○2つの通り沿いの様子が違う理由を考えるという本時の学習に対する問題意識を明確にできるように、これまでの活動や既習事項を問いかける。
2 2つの通り沿いの様子が違う理由を考える。 ・バスの時刻表の写真を比べると、赤城県道の方がたくさんのバスが走っているから、様子が違う理由はバスの本数が違うからだと思うな。 ・車が停まっている写真を比べると、みずき通りの方が赤城県道に比べて車の台数が少ないよ。だから、様子が違う理由は車の台数が違うからだと思うな。 3 2つの通り沿いの様子が違う理由について話し合う。 ・友達が、バスの本数を様子が違う理由にしているのは、ぼくの考えと同じだな。赤城県道の方がたくさんのバスが走っているものね。 ・同じ駐車場の写真を使っているけれど、友達は、ぼくとは違って駐車場の広さが違うから様子が違うと考えているな。話を聞いてみて、ぼくも納得できたよ。 ・赤城県道の様子が違う理由を見ると多いや大きいがどれにもついているな。みずき通りには少ないや小さいがどれにもついているな。 ・写真を比べると赤城県道はたくさんの人が出てくるけど、みずき通りは人があまり出てこないな。つまり、多くの人が使っているところは駐車場が広かったり、車の数が多かったりするから様子が違うのだね。 ・2つの通り沿いの様子が違う理由は、赤城県道の方がたくさんの人が使っているからということが分かったよ。 (問題解決した意識) 4 本時の学習の振り返りをする。 ・2つの通り沿いの様子が違う理由は、使っている人の数が違うからなのだな。 ・学校の周りの様子が違う理由も2つの通り沿いの様子が違う理由と同じで、使っている人の数が違うからなのかな。	○2つの通り沿いの違う理由とその根拠となる資料との関係性を視覚的に気付けるように、ロイロノートで配付した赤城県道沿いとみずき通り沿いに分けた二次元表の学習シートに根拠となる写真を添付するよう促す。 ○2つの通り沿いの様子が違う理由を同じ観点に着目できるように、建物の大きさの写真を根拠として選択した二次元表を例示する。 ○2つの通り沿いの様子が違う理由とその根拠となる資料の関係性の共通点や相違点を見出せるように、ロイロノートで共有した学習シートを見るよう促す。 ○2つの通り沿いの様子が違う理由やその根拠を更新できるように、小グループで2つの通り沿いの様子が違う理由やその根拠の共通点や相違点について話し合うよう促す。 ○赤城県道沿いとみずき通り沿いの特色をキーワード化できるように、それぞれの通り沿いの建物や駐車場の広さの違い、交通量の多さの違い等を視点に二次元表にして板書する。 ○2つの通り沿いの様子が違う理由を建物や駐車場の広さ、交通量、バスの本数等と人々の生活とを関連付けられるように、赤城県道沿いとみずき通り沿いの店を利用している人の様子の写真を掲示し、相違点を問いかける。 ○学習成果を実感できるように、2つの通り沿いの様子は、使っている人の数の違いが理由であることを見いだせたことを称賛する。 ○次時への学習意欲を喚起できるように、学校の周りの様子が違う理由を問いかける。